

# 市町村合併に関する調査について

# 市町村合併に関する調査結果について①

## 調査概要

平成の合併(H11.4~H22.3)期から現在までに合併したすべての市町村(590団体)を対象に、市町村合併に係る課題等について調査を実施。(平成24年12月31日現在)

## ◇市町村合併による効果

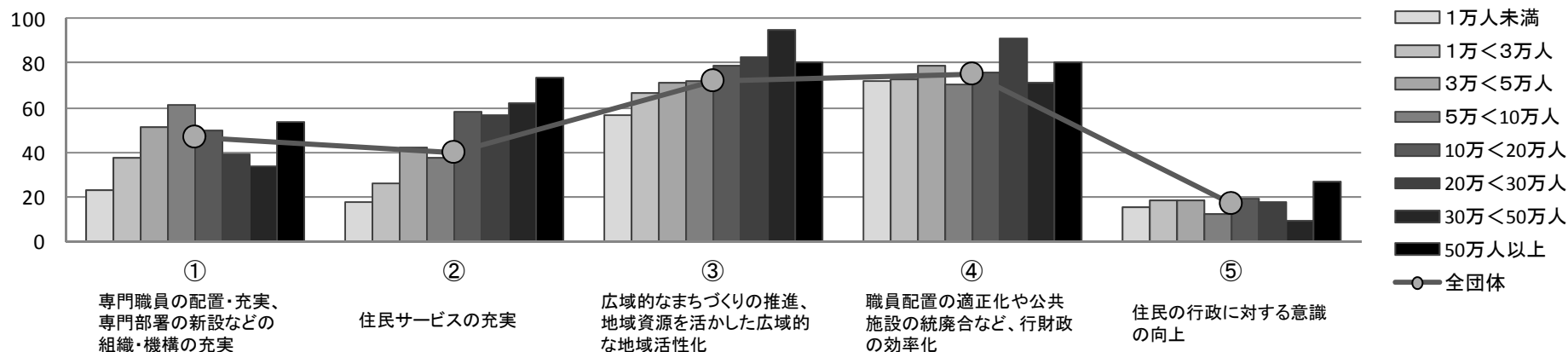
- 市町村合併による効果としては、「④行財政の効率化(職員配置の適正化、公共施設の統廃合など)」(74.7%)、「③広域的なまちづくり推進、地域活性化」(71.7%)が多く選択されている。
- 人口規模別に見ると、「④行財政の効率化」は、人口規模に関わらず選択した市町村の割合が高い一方で、「②住民サービスの充実」や「③広域的なまちづくり推進、地域活性化」は、人口規模が大きいほど選択した市町村の割合が高くなる傾向がある。

### ○ 市町村合併による効果について (複数回答可)

質問	選択肢	回答率
市町村合併により生じた効果として、どのような点を評価していますか。	①専門職員の配置・充実、専門部署の新設などの組織・機構の充実	46.8 %
	②住民サービスの充実	39.7 %
	③広域的なまちづくりの推進、地域資源を活かした広域的な地域活性化	71.7 %
	④職員配置の適正化や公共施設の統廃合など、行財政の効率化	74.7 %
	⑤住民の行政に対する意識の向上	16.8 %
	⑥その他	6.1 %

### ○ 人口規模別

回答率 (単位: %)



# 市町村合併に関する調査結果について②

## ◇合併後の行財政運営上の課題

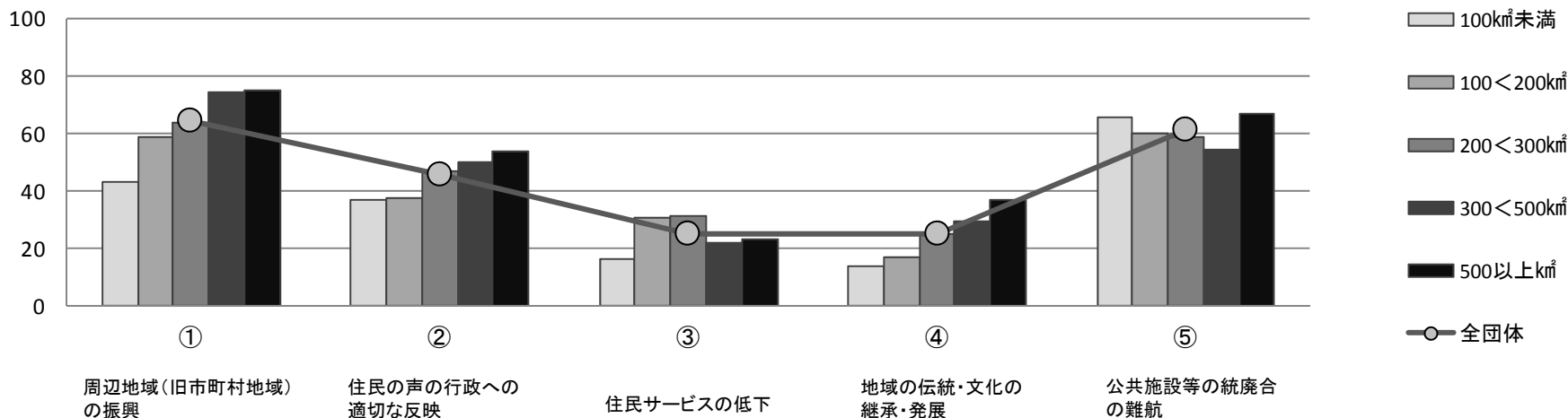
- 合併後の行財政運営上の課題としては、「①周辺地域(旧市町村地域)の振興」(64.6%)、「⑤公共施設等の統廃合の難航」(61.0%)、「②住民の声の行政への適切な反映」(45.6%)の順に多く選択されている。
- 面積規模別に見ると、「①周辺地域(旧市町村地域)の振興」や「②住民の声の反映」、「④地域の伝統・文化の継承・発展」については、面積が大きいほど、選択した市町村の割合が高くなる傾向がある。

### ○ 合併後の行財政運営上の課題について（複数回答可）

質問	選択肢	回答率
合併後の行財政運営上の課題として、どのような点がありますか。	①周辺地域(旧市町村地域)の振興	64.6 %
	②住民の声の行政への適切な反映	45.6 %
	③住民サービスの低下	25.3 %
	④地域の伝統・文化の継承・発展	25.3 %
	⑤公共施設等の統廃合の難航	61.0 %
	⑥その他	9.8 %

### ○ 面積規模別

回答率（単位：％）



# 市町村合併に関する調査結果について③

## ◇行政区域の広域化に伴う課題への対応で重視していること

○ 合併により行政区域が広域化したことに伴う課題への対応で重視していることとしては、「⑤地域単位でコミュニティ活動等を行う団体への支援」(71.5%)、「②コミュニティバスの運行・運行エリアの拡大」(54.1%)、「④地域のイベント、祭りの実施及び伝統文化の保存・継承への支援」(45.1%)、「①支所機能の充実によるサービスの維持・向上」(43.6%)の順に多く選択されている。

(複数回答可)

質問	選択肢	回答率
合併により行政区域が広域化したことに伴う課題への対応について、特に重視して取り組んでいることは何ですか。	①支所機能の充実によるサービスの維持・向上	43.6 %
	②コミュニティバスの運行・運行エリアの拡大	54.1 %
	③消防・保健衛生機能の維持	38.3 %
	④地域のイベント、祭りの実施及び伝統文化の保存・継承への支援等	45.1 %
	⑤地域単位でコミュニティ活動等を行う団体(自治会、町内会、商工会等)への支援	71.5 %
	⑥地域審議会、地域自治区又は合併特例区等の活用	30.2 %
	⑦その他	8.1 %

# 市町村合併に関する調査結果について④

## ◇支所方式の採用状況・支所機能で重視していること

- 約35%の市町村において総合支所方式が、30%の市町村において分庁方式が採用されている。面積の小さい市町村ほど、分庁が置かれ、面積が広くなるにつれて、総合支所が置かれる市町村の割合が高くなる傾向がある。
- 重視している支所機能について、「④身近な場所での窓口、相談機能」については、面積に関わらず選択した市町村の割合が高く、「①コミュニティ機能の維持」、「②きめ細やかな行政サービスの維持」、「③災害対応の拠点」については、特に面積が広いほど、選択した市町村の割合が高くなる傾向がある。

### ○ 支所方式の採用状況について（1つだけ回答）

質問	選択肢	市町村数	回答率
支所等について、現在、どのような方式を採用していますか。	①分庁方式(※)	177	30.0%
	②総合支所方式(※)	205	34.7%
	③分庁・総合支所方式の複合(※)	46	7.8%
	④窓口サービス中心の支所方式	120	20.3%
	⑤出張所方式	19	3.2%
	⑥その他	18	3.1%
	⑦支所等は置いていない(本庁舎のみ)	5	0.8%

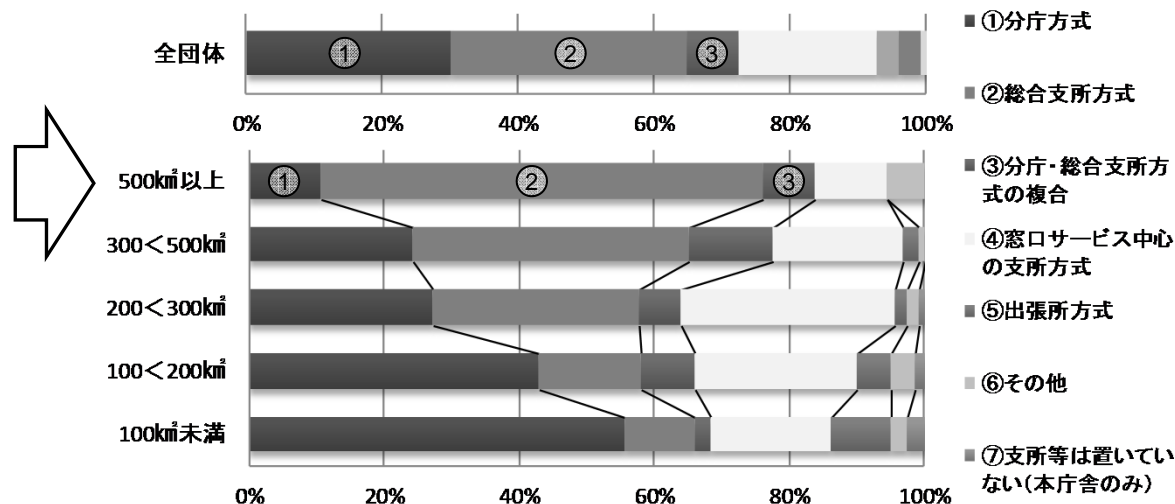
(※)出張所方式も併せて採用している場合を含む。

- ①分庁方式: 新市町村の役場機能を、部課単位で分割して旧役場に配置する方式。
- ②総合支所方式: 管理部門を本庁に統合し、事業実施部局などの部局は各支所に残す方式。
- ③分庁・総合支所方式の複合: 分庁及び総合支所を配置する方式。
- ④窓口サービス中心の支所方式: 旧市町村役場には主として窓口サービスのみを残す方式。  
実質的には出張所に近いが、名称として「支所」等の名称を用いる。
- ⑤出張所方式: 旧市町村役場を主として窓口サービスのみを行う出張所とする方式。

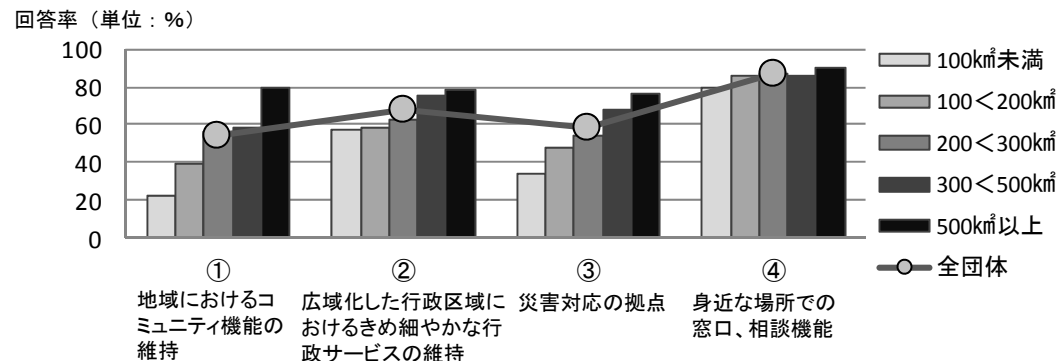
### ○ 支所機能で重視していることについて（複数回答可）

質問	選択肢	回答率
支所機能の位置付けとして、特に重視していることは何ですか。	①地域におけるコミュニティ機能の維持	54.4%
	②広域化した行政区域におけるきめ細やかな行政サービスの維持	68.2%
	③災害対応の拠点	58.6%
	④身近な場所での窓口、相談機能	87.2%
	⑤その他	2.4%

### ○ 面積規模別

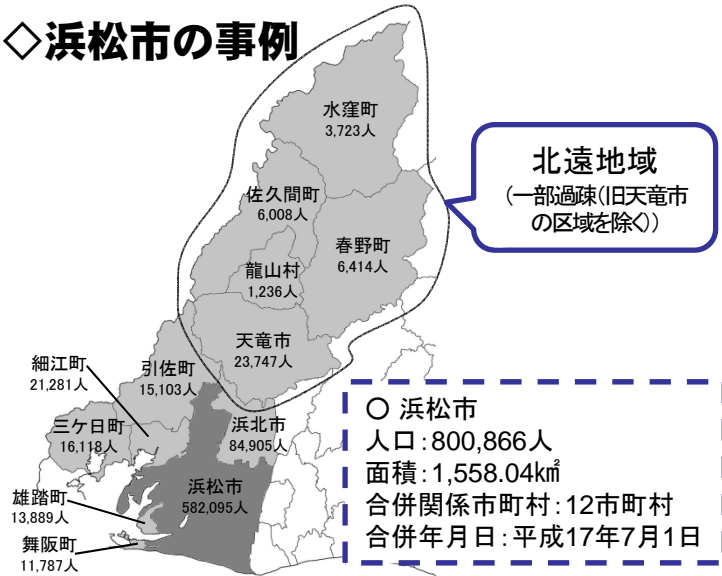


### ○ 面積規模別



# 中心都市と周辺市町村との合併

## ◇浜松市の事例



## ○ 合併前の周辺市町村の地域における行政サービスの充実

### ① 消防ヘリコプターの運航

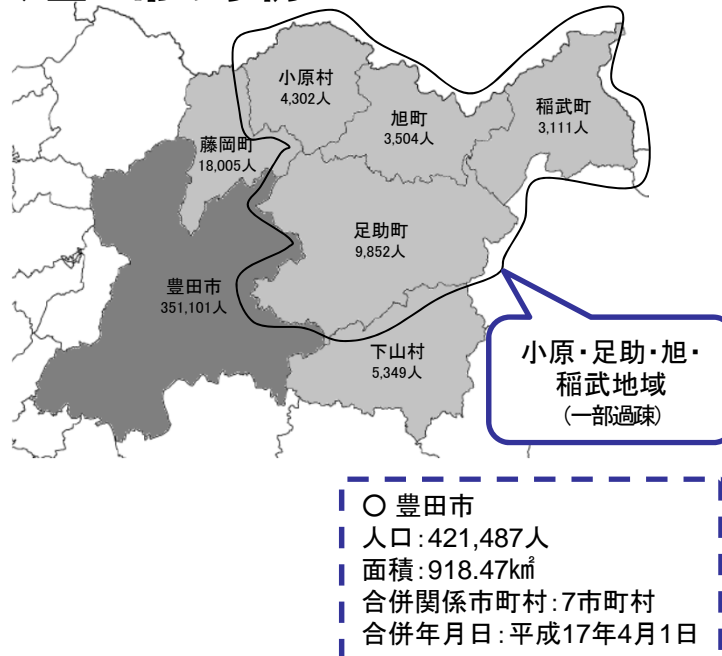
〔平成22年度より消防ヘリコプターを運航。5割以上が北遠地域への出動 68件/128件(平成24年)〕

### ② 過疎地等におけるがん診療等の医療体制の充実

〔市内の4つのがん診療連携拠点病院等との協力関係の構築により、北遠地域唯一の公立病院である佐久間病院における、がん医療の相談支援体制を充実(平成25年度～)  
・浜松市医療センターから佐久間病院に対して婦人科の医師を派遣し、婦人科専門外来を創設(平成25年度)等〕

### ③ 上水道施設の統合などにより、安定的な供給体制を整備し、水質を向上

## ◇豊田市の事例



## ○ 合併前の周辺市町村の地域における行政サービスの充実

### ① へき地医療拠点病院の改築事業

〔中山間地域を診療圏とする足助病院の耐震・老朽化対策のための施設改修に対して補助〕

### ② 子育て支援策を充実

〔旧町村地域において子育て支援センターを整備(4か所)するなど、子育てしやすい環境づくりを推進〕

### ③ 交通基盤の整備

〔都心・駅・支所などを相互に連絡する「基幹バス」(旧町村地域で9路線)や地域内を循環する「地域バス」を運行(同6地区)〕

※ 内の人口は、平成22年国勢調査(平成22年10月1日現在)に基づくもの。  
 ※ 内の面積は、「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院、平成22年10月1日現在)に基づくもの。  
 ※ 地図内の市町村名は、合併前の旧市町村名を記載。  
 ※ 地図内の人口は、平成12年国勢調査(平成12年10月1日現在)に基づくもの。